

# 利活用希望調査 第1回意見交換会 議事録要旨

日時 平成30年8月30日（木）  
午後7時00分から9時00分まで  
場所 市役所本庁舎4階 第1会議室

出席団体：NPO 法人ファミリーステーション Rin、赤ちゃんサークル、  
ワズパス、自然派子育てサークル とこてく、惣助ファーム、  
株式会社 ideai、日進 f b 交流会、自然工房、雑貨屋 Kint.、  
いきいき塾 NPO 絆、日進児童合唱団、場リスタ Next、

欠席団体：NPO 法人日進野菜塾、にっしん犬友の会、にっしんライトミュージック研究会、にっしん観光まちづくり協会、愛知保護区保護司会（日進部会）

（事務局）都市計画課基幹施設整備室：加藤室長、高柳室長補佐、  
清水係長、坂井主事

建設経済部：伊藤支援員

## 1 議 題

- （1）グループワークによる意見交換
  - （ア）道の駅設計（たたき案）
  - （イ）屋外広場と駐車施設との安全対策について
  - （ウ）道の駅のデザイン検討について
- （2）全体での意見交換

（事務局）

- ・利活用希望調査は、道の駅の設計の参考とするため、道の駅を利活用したい団体から、具体的な施設の使い方、設計時に反映して欲しい要望事項を調査するものである。
- ・当初 10 団体程度で募集をかけたが、募集を上回る17団体からの応募があった。ありがたい話なので応募いただいた全団体から意見を聞くこととした。
- ・今回、6～7月に実施した個別ヒアリングをもとに、設計に関する要望内容ができるかぎり反映した「たたき案」を作成した。しかし、この案は事務局が計画しても良いと想定しているものではない。ヒアリングでは、設計に直接関連しないものも合わせて多くの意見をいただいたが、内容を反映することで相乗効果が図られるもの、整備効果が薄れるものもある。そのため、全団体で意見交換会を行い、道の駅全体を整理した「利活用希望調査に基づく道の駅の要望内容（道の駅全体）」等を取りまとめる予定である。
- ・今後、「利活用希望調査に基づく道の駅の要望内容（道の駅全体）」を基に素案

を作成し、道路管理者等の関係機関と調整を進め、管理、運営、その他総合的な視点から設計（案）を検討していく予定である。

- 本日の進め方としては、A・Bグループに分かれてのグループワークによる意見交換を行い、各グループのまとめを発表した後、要望内容（道の駅全体）について全体での意見交換を行い、本日のまとめを行う。

## <主な質問・意見等>

### (1) グループワークによる意見交換

#### 【Aグループ】

- 子育て支援施設（屋内）について、乳幼児・未就園児・小学校低学年とゾーニングがあることは良いと思う。年代別の空間分けは必要だが、未就園児と小学校低学年の間は、可動式パーテーションにしてはどうか。平日の昼間は学校があり、小学生の利用は想定できないので、空間がもったいない。広々と利用してもらったらどうか。  
→確かに平日昼間の小学生の利用は想定できないので、可動式パーテーションを検討する（事務局）。
- 乳幼児と未就園児の間は、移動可能な低書架やおもちゃのブロック（クッション等）でよい。また、ゾーニングは、床の色分け程度でも、子どもたちは自然と住み分けする。  
→床の色分けなどの工夫については、今後の床材の検討事項とする（事務局）。
- 乳幼児スペースの床は、個人的には畳が安心できる。畳にできるのか。  
→畳が望ましいとのことなら畳を検討するが、そこは畳の良さはどの部分が教えてほしい。例えば、柔らかいことが長所なら、コルク材やクッション性のフロアマットもあるが（事務局）。  
→子育て支援施設は、飲食可能なスペースか。  
→おやつ程度の飲食は可能にしたいと考えている。畳の場合、食べこぼしの清掃といった、アレルギー対策の部分にも懸念が残る（事務局）。  
→市内の「R i nのおうち」でも畳の部屋があるが、清掃や張替えなどのメンテナンスが大変である。あまり公共施設向きとはいえないので、例えばクッションフローリングなど、子どもが安心して寝転べる床材なら良いと思う。
- 要望内容に基づき、子育て支援施設内にベビーカー置場を設定した。しかし、必要な面積のイメージがつかない。皆さんの意見をもらいたい（事務局）。  
→それほど多くは必要ないと思う。  
→施設全体を見たとき、車での来駅がメインだと思うが、ベビーカーをわざわざ使うよりも抱っこ紐で移動する方が多いと思う。何台かは必要だと思うが、何十台のスペースは不要だと思う。
- 子ども用トイレの位置について、2つの意見があった。一つは子育て支援施設内に設置する意見、もう一つは地域振興施設のトイレに設置する意見である。今回、意見の多かった子育て支援施設内に配置したが、併設して大人用トイレが必要になるため、スペースがもったいない部分も生じている。どちらに設置するのがより望ましいか意見交換したい（事務局）。  
→最近、子どもを狙った性犯罪被害がよく起きている。子育て支援センターの

ような特定の人のみが利用する施設は良いが、道の駅のように不特定多数が出入りできる施設は、防犯上の面から考えると、保護者は子育て支援施設内の方が安心できるのではないかと。

→道の駅という施設上、防犯や安全性の確保は重要な視点である（事務局）。

- 外出時、子どもは食事しているときに限って、トイレに行く傾向がある。そういった意味では、飲食施設からすぐにトイレに行ける位置にある方がよいと思う。

→そういった視点も検討し、飲食施設の隣に子育て支援施設を配置した。いろいろな意見を踏まえると、皆さんの意見としては子育て支援施設内に設置した方がよい、という意見でよろしいか（事務局）。

→特に問題ない（全団体）。

- 要望内容に基づき授乳室を設置したので意見を伺いたい。現在、複数の個室を用意するのではなく、集団で利用できる部屋を想定しているが、こういった設計をした方が良いか（事務局）。

→最近の商業施設では、個室と集合スペースの併設のイメージがある。スペースが限られているなら、集合スペースだけでも良いと思う。

- ミスト噴水は、どのようなものか。ミストなので霧状のものか。

→要望が非常に多かったので、公園内に水場を設置する方向とした。霧状タイプか水鉄砲のように水が打ち出すタイプかは決まっていない。噴水のように常時噴出しているタイプは、水質管理の問題と排水施設が必要となるため難しい。なので、前2者のタイプになると思うが、皆さんが望むタイプを採用していきたい（事務局）。

→刈谷ハイウェイオアシスは、吹き上げるタイプであるが、子どもたちが喜んでいる。

→あれぐらいの水量が吹き出していると、子どもたちの好奇心がくすぐられ、遊んでいるイメージが出る。

→ハイウェイオアシス並みの水量だと、しっかりとした排水設備が必要となるので、それを踏まえて検討となる（事務局）。

- 少し話題を変えるが、先ほど話題に上がったホワイトボードとして利用できるパーテーションについて、素敵な提案だと思うので、改めて検討できないか。

→事務局で業者に確認した内容だが、ホワイトボードとして利用するために特殊な加工（コーティング加工）を施している製品とのことである。よって、年1回程度、定期的なメンテナンスが必要となることが課題として挙げられる。また、可動式パーテーションでは既製品がないようで、特注品での対応となる。対応自体はできるが割高になる点はネックである（事務局）。

→管理が大変なのは、あまり望ましいとはいえない。

- 情報発信施設の壁面を、ホワイトボードとして利用できるよう加工することがあってもいいと思う。情報発信施設を利用したいという団体の要望があるし、机やイスがあるので、コミュニケーションの場として施設利用されることを促していけるのではないかと。

→現実として、どこの道の駅でも情報発信施設の利用率は課題となっている。

なので、団体の皆さんに、ぜひ活用していただけたらと思っている(事務局)。  
→情報発信施設は広いスペースなので、使わないともったいない。有効活用した方が良い。

→情報発信施設に人が集まるようにできたら良いと思う。

- 道の駅は、最終的には観光拠点のようなイメージを持っているのか。

→DMO 事務所を設置したのは、現在、日進市では観光まちづくりを目指して DMO 法人の設立準備を進めている。その聞き取りの中で、人の集まる道の駅に活動拠点を置きたい要望があったため、場所を確保した。一般的な道の駅では、道の駅で観光等の情報発信をするとともに、来訪者も情報を探すために訪れる。ただ、現実的には、パンフレットが置いてあるだけで、利用者がほとんどいない状況の道の駅も多い。なので、情報発信施設を利用したい団体には、ぜひ活用してもらいたい(事務局)。

- 利用者が少ないというのは、非常に施設としてもったいない。個別ヒアリングで提案した「Yahoo!LODGE」のような、おしゃれな、過ごしやすい打合せスペースのようにしたら、滞在しやすいのではないかと思う。家具などがおしゃれだと魅力的だし、そうしたスペースでパソコン等を設置して簡単な検索ができると、立ち寄りやすいじゃないかなと思うし、気軽に情報を拾っていきやすい施設になると思う。

→映像による情報発信はあった方がよいと思う。

→スクリーンやプロジェクターのようなものか。

→そういった類のものである。大きなモニターで情報発信してみるとよいと思う。

→大型機器に対応した設備を考えるのは設計の範囲なので、ありがたい意見である。一方で、検討するためには、映像データの当てが欲しいのは、担当者として正直な意見である(事務局)。

→市の広報番組はどうか。

→市内の大学との連携で、PR 映像を製作してみるのもよいのではないか。例えば、名古屋学芸大学と連携して、ミニフィルム製作つくろうみたいなイベントを開催してみるとか。資料で提案されたデザインを見たとき思ったのが、プロジェクションマッピングもできそうな建物のイメージを受けた。大学との連携で取り組めないかとか想像が膨らむ。

- 道の駅の建物のデザイン検討について、皆さんとイメージを共有したい。全国の道の駅がどのような建物が多いか、事務局で少し整理した。大きく分けると3パターンで、1番目は片流れタイプで、現代的な建物イメージがある。2番目が、切妻タイプで、オーソドックスであるが、一昔前の建物の印象はある。3番目は、特徴的なデザイン・意匠を加えたもので、建築費や維持管理費は高くなるが、完全オリジナルのため個性的な建物にすることができる。その中で、事務局としては、若い世代の多い町、おしゃれな感じの建物にしたいことから片流れの屋根の建物を提案しているが、どのような建物の方向性がよいか意見交換したい(事務局)。

→コストが必要以上にかかるのはよくない。

→片流れタイプは構造がシンプルなので、建築費は標準的である。切妻タイプ

も同様である。片流れの良い点は、雨どいや付帯設備を建物裏側にもっていくことができる（事務局）。

- 駐車場から建物までを誘導する屋根でつなぐことはできないか。雨よけにもなるので非常によいと思う。先日オープンした岐阜県大野町のように、屋外広場を囲うように屋根をつけると、土日曜日に、マルシェといったイベントや物販販売にも活用できると思う。
  - シェルターは、必要最低限の範囲は設置予定である。具体的には、道路休憩施設の身障者用駐車場ますからトイレと地域振興施設までの間と、南側にあるバス停留所から地域振興施設までは設置予定である。一方で、屋外広場の東及び南側については、防災ヘリポートの離着陸帯の設置基準により、高さのある構造物は設置できない。緊急時にしか利用しないが、設置基準は満たす必要がある（事務局）。
  - 条件は理解できた。図面を確認したところ、それなりに設置されているので問題ないと思う。
- 参考イメージにある、南信州とよおかマルシェのように、曲線の入った屋根になるのか。
  - まだ平面図の検討段階のため、立面設計は未定であるが、こうした方が良いという意見はお伺いする（事務局）。
  - あまり直線で角角した施設よりも、参考イメージのような曲線がある屋根等の方が入って行きやすい感じがする。
  - やわらかくて、いい雰囲気施設な感じがするので、参考イメージのような屋根は良い。
  - 駐車場側が広く開いているのは、見栄えもよく、中も見えるので、非常に良いと思う。
  - 南信州とよおかマルシェは、非常にイメージとしてよい。
  - アール部分がある屋根というのが良い。
- 建物はガラス張りの予定か。全面ガラス張りだと、清掃などの維持管理が大変になる。ガラス面はデザイン的に必要だと思うが、予算や維持管理の面も考えて設計してもらいたい。
  - 維持管理の意識は大切である。今後のデザイン検討でも配慮していく（事務局）。
  - 予算面とは相談してもらい、全面ガラス張りではないものの開放感のある建物を目指してもらえればと思う。
- 自然感を感じられる施設だといいたいと思うが、木造や木材を使用することは考えているのか。
  - 床材や仕上げ材の部分で木材を使用することは検討している（事務局）。
  - 日進市では友好自治体提携を結ぶ木祖村の木材を使用するといった条件はあるのか。
  - 皆さんの意見を参考にしつつ、コストも考えて設計できればと思う（事務局）。
  - 木材といっても、とても大切な樹木を伐採してまで使用してほしいものではない。以前、他のまちのそういった事例を聞いたが、残念な話と思う。間伐

材などを使うのも一つの案だと思う

→日進市でも、公園等で間伐材を使用しているが、間伐材は通常の資材よりも割高になるのが実情としてはある（事務局）。

→確かに間伐材は高くなる。

→木祖村とは友好自治体提携を結んでいるので、木祖村の間伐材が何らかり利用されると良いことだとは思う。

→何らかの形で使用されれば良いなと思う。

→今の基本設計では確約できないが、今後、詳細設計等において何らかの形を検討できればと思う（事務局）。

- 建物のデザイン検討については、事務局提案の片流れタイプのデザインの方向性でよいか（事務局）。

→参考イメージのような方向性で良い（全団体）。

- 屋外広場と駐車場施設との安全対策について意見交換を行いたい。個別ヒアリングの内容を踏まえて、2種類の構造を検討して案を作成した。1つは植栽帯を千鳥格子に配置したもの、1つは視距を考慮した隙間のある防護柵とプランターのような植栽を配置したものである。植栽帯等を設ける理由は、広場で遊ぶ子どもたちがボール等で遊んだ際に、ボールを追いかけて飛び出す懸念があることから、飛び出し防止策として検討しているものである（事務局）。

- 原則的に、サッカーや野球はできないのではないかと。

→実際には広場の大きさにサッカーや野球はできないとは思う（事務局）。

→小さい子どものボール遊び程度で、それが転がっていったような想定ではないか。

→どちらかという、そのようなイメージである。そう考えるとフェンスまでは、利用者を考えると必要ないのではないかと考えている。今回の案でも、植栽帯を2列置いているが、2列置くと結構なスペースが必要となる。そのあたりも意見をいただきたい（事務局）。

- この議論は、立場によって意見が変わるし、意見交換をしてもまとまらないものだと思う。本日はどこまで議論したいものか。お互いの意見を出し合って終わりか、何らかまともを出して方向性を出したいのか。

→事務局の提案どおりでよいか、植栽帯を減らしてもよいか、方向性はまとめたい（事務局）。

- 安全対策は追求し出したら、突き詰めていくと金網フェンスで全て囲うことになってしまう。そこまでいくと、行き過ぎてしまう。ほどほどのところでお互いの妥協点を見出さないといけない。

→だからこそ皆さんの意見を伺いたいと考えている（事務局）。

- そもそも屋外広場のイメージは、思い切りボール遊びができる場所として作るイメージだったのではないかと。赤ちゃんのボール遊びと私がイメージした小学生のボール遊び、例えばドッジボールなど、とは大分イメージが異なる。「思い切り遊べる」と書いてあるからこそだったが、最初のコンセプトからイメージが異なる。

→「思い切り」というのが、「誰が思い切り遊べるのか」という話で、赤ちゃん

んなのか、小学生なのか、日本語の難しさがある。明確にしておけば、こうしたイメージのずれはなかったと思う。

→その点については申し訳ない。

→ボール遊びで、サッカーやドッジボールだとフェンスがいると思っていたが、そのようなイメージならそこまではと思う。

- 対策を考えるにあたり、この屋外広場で何ができるのかを明確にしないとイケないと思う。または、何をすればいけないかをはっきりさせた方が良く思う。

→サッカーができる場所と思っていたので、だからフェンスレベルの安全対策が必要だと思っていたが、大分違うようである。

→本日確認した定義だと、サッカーやドッジボールのようなものではなく、赤ちゃんなどのボール遊び程度であり、それに対してどのような安全対策が必要かということであるでよいか。

→イメージとしては、もう少し上の年齢層までだと想定している（事務局）。

→ここは芝生の予定か。

→芝生の予定である（事務局）。

- 屋外広場の表層の話題が出たので、もう一つ皆さんから意見を聞きたい案件がある。今回のたたき案では、屋外広場の南側にドッグランを設置する形としている。これは、個別ヒアリングの要望の一つで上がったもので、スペース的には設置可能であるため図上に落としてみた。しかし、いくつかの課題がある。1点目は、犬が嫌い、動物が嫌いな利用者もいること、2点目は衛生面の問題、糞尿の問題や誰が管理するのかなど、そういった様々な課題があるため、皆さんの意見を聞きたい。

→サイズ感が分かりにくい。例えば、プライムツリー赤池にドッグランが設置されているが。

→今回の案では、プライムツリーの3分の2程度の大きさとしている（事務局）。

- 私個人は犬が嫌いだからではないが、プライムツリー赤池の例を見ると、あの柵の中で犬が遊んでいるのは、全然開放感がないと感じるので、それよりも小さいものはどうかと思う。

→プライムツリー赤池では、主要な人通りから隔離されているはず。

- わざわざ道の駅の敷地内で遊ばせなくても、道の駅周辺を散歩させれば良いと思う。農地が広がっているのだから、いくらでも散歩できると思う。

→事務局も、このまま設計しても良いと想定しているものではない（事務局）。

→道の駅自体は、犬を連れ込むのは禁止なのか、リードをつければ連れ込み可なのか。

→現段階では回答できないが、散歩で通り抜ける人までは規制できないと思われる（事務局）。

- 犬にとっては格好のトイレ場所になってしまう。糞はある程度除去できるが、おしっこは取る事はできない。

→犬のおしっこがかかると、芝生は枯れてしまう。

→その問題もあるし、子どもが座ったり寝転んだりする場所に、犬のおしっこ

をされるのは良くないことである。

→ドッグランがあると、犬の連れ込み可になるので、助長する可能性はある（事務局）。

→どうしても設置するなら、設置場所を影響のない場所に変更した方が良い。

→犬のおしっこは、テリトリーを示す習性なので、止めることができない。なので、ドッグランは良くないと思う。

→そもそも、道の駅のすぐ近くにドッグカフェがある。その点でも不要だと思う。

→子どもが遊ぶ場所に犬がいるのも、事故の不安がある。

- 一旦、今までの意見を簡潔にまとめさせていただく。子育て支援施設（屋内）について、規模や子ども用トイレや授乳室などの施設内容はたたき案どおりでよく、小学校低学年と未就園児との間は可動式パーテーションで、平日は連続した空間利用できるようにする、ことでよいか（事務局）。

→特に意見なし（全団体）。

- 屋外広場と駐車場との安全対策については、今後も検討を続けていくが、植栽帯の案はどうか（事務局）。

→ここの利用方法の定義による。

→本日の議論だと、大掛かりなボール遊びはない（事務局）。

→そのような定義なら、この程度の対策で良いと思う。

→直線移動ができないような工夫があればよいと思う。

→植栽帯の案で、特に意見なし（全団体）。

- ドッグランについては、設置はしないという意見でよいか（事務局）。

→私は愛犬家だが、ドッグランは難しいと思う。

→ドッグランは、清掃などを含めて管理できるという前提が必要であるが、それは難しい。

→管理を徹底する必要があるが、それは難しいとは思う（事務局）。

→子どもと犬が遊ぶ場所が一緒というのは、やはり不安が残る。

→狭いものを作るくらいなら、むしろ無い方がよいと思う。

→結局、大きくないと小型犬しか使えないし、そうになると犬を飼っている人たちの不満も募ってしまうと思う。

- 建物のデザイン検討については、事務局の提案どおりで良いか（事務局）。

→問題ない。南信州とよおかマルシェのイメージが良い（全団体）。

- 一点だけ意見だが、屋外広場で利用できる簡易ステージはお願いしたい。

→要望を反映する予定である（事務局）。

- 調理室について、多目的室と連続した空間になる要望をしていたが、どのようになったか。

→建築基準法や消防法の確認を行い、パーテーションで全て開放状態で繋がるようにするのは難しいが、隣とは行き来できる扉をつける予定である（事務局）。

→行き来できるなら、扉があれば十分である。

- 多目的室は、全てつながった空間になるのか。

→要望内容に基づき、全てフラットな空間でつながるようにした（事務局）。



→今、福祉会館でも広い会議室が不足していて、借りることもできない状態である。ありがたい。

- 情報発信施設の意見については、どのように検討していくのか。
  - 映像も発信していける施設なので、いろんな人たちがここで発信できるような仕組みがあった方が情報発信拠点として非常に良いと思う。
  - OA 機器を使いたい時に使えるよう、設計段階で電源等の確保を考えておいたほうが良い。若い子達が入出する施設イメージになると良い。
  - 電源は設計の話なので、その部分については検討する（事務局）。
  - 大きなモニターを置くのはどうか。
  - 大きなモニターを置くと、家具の自由度は狭くなる（事務局）。
  - モニターではなく、プロジェクターで投影できる壁面にしてもらおうのはどうか。多目的室で話題に上がったホワイトボード加工を壁面にできるなら、投影もできるので、そうしてもらえたらと思う。
  - そういうのも良いと思う。
- 公園のイメージを教えて欲しい。大型遊具を置くのか。
  - 大型複合遊具を設置する予定である。個数は、敷地的に 2 つ程度が限界で、大きめのを 1 つと小さいのを 1 つという想定で検討しているが、どのような遊具を入れるかは、現時点では未定である（事務局）。
  - 遊具は、例えば 3 歳から 6 歳までといった対象年齢があるが、実際には対象年齢よりも小さい子どもも遊ぶ。対象年齢の高いものがよいが、どのあたりの年齢を設定する予定か。
  - そうしたことは把握しているので、対象年齢は 12 歳までの遊具で検討している。下の対象年齢をどうするかは検討中である（事務局）。
- 設計とは別の話だが、できたら道の駅につながるような自転車道の整備もお願いしたい。
  - 道の駅の設計の意見とは趣旨が異なるが、その他の意見として伺う（事務局）。
- バスの拠点は道の駅に移転するのか。
  - 現時点では未定である。ただ設計としては、将来バスを止められるだけのスペースを確保しておく（事務局）。
- 24 時間利用できる施設だが、警備員等は置くのか。
  - 管理運営にかかる部分なので明確にお答えできないが、防犯対策はいろいろ考えていく必要はある（事務局）。
- 屋外のトイレ（道路休憩施設）について、授乳室や子ども用トイレの要望は県に出してもらえるのか。
  - 県に要望は伝える。ただ、授乳室については、防犯上の観点から難しいと思われる。24 時間利用できる施設で、人のいない時間帯もある。その時に授乳室を利用した場合、女性がいる証になってしまい、危険だと思われる（事務局）。
  - そのとおりだと思う。
  - 授乳室は了解した。子ども用トイレについてはどうか。
  - 県の施設になるので整備は確約できないが、このグループの意見としてま

とまるなら、県に市として要望を伝える。今回のトイレ施設の図面も、今回の意見交換会のために、県がたたき案として作成してくれた。子ども用トイレは、県に要望させていただく（事務局）。

→ぜひお願いしたい。

## 【Bグループ】

- キッチンカーを広場の東側に設定した。また、花壇の位置や、柱にコンセントポールを合計6箇所設置したがどうか。
  - コンセントポールについては実際の使用的には必要数足りているのかが分からない。6つ用意するなら各々で一定の電力量を持たせて欲しい。
- キッチンカーの位置についてだが、現状広場の東側で想定されているようだが、その位置のみで設定してしまうと、もっとも人が集まる建築施設とは距離が離れている状態になる。キッチンカーを目当てにわざわざ人が集まることは考えづらく、施設利用のついでに立ち寄ることがメインである。よって、広場西側にも置けるようにしていただきたい。また、広場西側だとひさしもあり、雨天時でも利用することができるためなおのこと良い。現状の図面だと、ベンチ等の休憩施設も近くに無いため、購入したものを食べるために、わざわざ建築施設側に行かなければならないので、ベンチ等も近くにあると良い。現状の広場周辺の舗装方法や勾配についてはどういった設定なのか。
  - 事務局の提案としては、実際のキッチンカーの運用位置は指定管理者の意向によるためあくまで想定になる。キッチンカーの位置を現在の位置にさせていただいた理由は、西側に利用を想定してしまうと、建築施設が瀬戸大府東海線側から見えなくなることから、現在の位置で示させていただいている（事務局）。
  - 今の意見から、キッチンカーの位置を固定しないように図面から外すこととする（事務局）。
  - 舗装はインターロッキングを想定している。また、勾配については施設利用も考えフラットを想定している（事務局）。
- 駐車場から施設への利用者動線はどのように考えているのか。
  - 具体的にどこから、といった動線は想定していない。しかし、メイン入口は設定しており、そのための通路等は設定しているのでそちらを使う可能性が多いと思う（事務局）。
- ドッグランについては現在の図面のように記載させていただいた。田舎の道の駅では広いドッグランを設置している場合があるが、日進市のような街中であれば図面程度の規模感かと思うがどうか。（事務局）。
- そもそもドッグランというものにこだわらず、単に犬をつないで置ける場所があればよいのではないかと思う。それか、飲食施設のテラス部分で一緒に居るなどはどうか。
  - 建築施設内の飲食スペースの横にテラス席で一緒に食べられるような小さいスペースでもいいのではないか。しかし、ただ走らせたい場合は今のよう

な形になると思う。

→建築施設内の飲食スペースの横に、テラス席で一緒に食べられるような小さいスペースだと、犬同士で喧嘩になったり、公園スペースが近くにあるため安全上問題があるほか、犬が苦手だったり、犬が気になる人がいる。そのため現在の位置に設置してある。また、ドッグランに集まった人同士で会話するといったイメージで現状の図面の場所に設定してある（事務局）。

→そういったイメージであったら、ドッグラン上部に屋根をつけ正方形のようなスペースで内側を向いて話ができるようにしたほうが良いと思う。

→ドッグラン上部に屋根を設置するといった方向性は防災ヘリポートの設置基準から厳しい（事務局）。

• 犬の散歩の途中に道の駅を利用していただくことにより、利用者数が増えるのならば良いと思う。しかし、そうした場合には先ほどのとおり、単につなげておける場所があるだけでよいと思う。

• 利活用希望調査の各団体のヒアリングで意見のあった屋外での売り場については、雨天時でも濡れずに通行ができるようにひさしを設置した。また、イベントとしても販売が可能なのにもなっているが、いかがか（事務局）。

• 庇は、どの範囲に庇があるのか。

→建築施設の東側については南の物販施設から公園施設までひさしが設定してある（事務局）。

→他の部分についても似たような設定があるようだが、これはどのようなものか。

→他には、先ほどのひさしとは異なり、バス停等にあるシェルター等を想定しており、バス利用者が雨に濡れないようになっていたり、車椅子利用者が濡れることなく施設内に入ることが出来るように設置してある（事務局）。

• 利活用希望調査の各団体のヒアリングの際にカフェスペースを用意して欲しいという意見があり、図面のように外からも見られるようなイメージで、誰でも気軽に利用できることを想定した形としているがどうか。

→飲食施設については、イメージ的には商業施設にあるフードコートを設定すればよいか。

→レストランといったそれ自体を利用する人のみが利用できるイメージではなく、様々な利用者が自由に気軽に利用できるイメージである（事務局）。

• 屋根つきの屋外で飲食ができるスペースがたくさんあると良いと思う。先ほどの話の中でキッチンカーが西側でも営業可能な想定にすることにより、一層その様なスペースが必要になると思う。

→もう少し配置を検討する必要があると思う。また、例えばだが、そういった屋根つきの屋外の飲食スペースを増やす場合は公園遊具を減らしたりといった工夫が必要になってくる可能性がある（事務局）。

• 屋外の農作物などの物品販売については、屋外のひさしの人にむけて販売できるようなイメージとして、キッチンカーのように図面に記載してほしい。

→屋外の農作物などの物品販売については、指定管理者の意向によるものであり、イベント利用的なことを想定するため、図面に示すことをせず、欄外に記載する方向で検討する（事務局）。

- 情報発信施設について意見はあるか。道路情報、地域情報、観光情報をPRできる場所であるが、他市町の一般の道の駅では、この場所の活用の仕方を悩んでいる。日進市ではDMO事務所を設置し活用していきたいと考えている（事務局）。
  - 特に意見なし（全団体）。
- 障害者の販売スペースを物販施設に置くべきである、という意見については×となっているが、障害者の販売のスペースを始めからとっていないと、開駅の際に障害者団体が販売できないのではないかと。
  - 施設内の物販に関しては指定管理者が決めることであり、物販施設内に設置する陳列棚などについては市で用意するが、それ以外の運用等については設計段階では決まらないため、その様な形をとっている（事務局）。
  - 運用において、指定管理者が野菜販売をしないとした場合にはそういった形になるのか。
  - 道の駅の一般事例を見るとき、野菜を販売しないことは想定しづらいが、指定管理者の考えによることとなる（事務局）。
  - 障害者団体が作った物を売るとは大いに特徴があり、そういった他の場所でやっていないことをやるのが、日進市の道の駅の特徴になる。その結果、売上が上がればなおのこと良いのではないかと。
  - 障害者が作ったものに印、マーク等をつけ安心して提供していけるように指定管理者の仕様書に書いていくべきではないかと。
  - 仕様書等の条件付けとして販売を強制するのではなく、指定管理者が逆に販売したくなるように、日進市の市場価値を上げていくことが重要である。日進市にはこのようなものがあるといったような方向性を示していき、指定管理者が販売したくなるようにすることが重要である（事務局）。
- 基本計画に書いてある木祖村の物については、販売することができ、なおかつ売上を上げることができるのか。
  - 常設して販売することについては、わからない。にぎわい交流館で行われているようなイベント的な形式で行われることは想定される（事務局）。
  - 基本計画には木祖村の商品については取り扱うと書いてあるが、障害者団体の商品は書いていない。そのため、指定管理者は障害者雇用を含め、障害者団体の製品は取り扱わないのではないかと。どうして資料において現時点で決まっていないことなのに×なのか。
  - この表は、要望内容の可否ではない。あくまで今回の設計に関する要望としての判定である。販売にかかる内容は管理運営にかかるものであり、指定管理者の意向によるところの部分のため、設計に反映できないものは×にさせていただいた。△にするかどうかは検討させていただく（事務局）。
- 条件に入っていない商品等を入れることは、指定管理者は絶対に行わない。市が、指定管理者に販売する商品については一任するというのであれば、市民団体等が何かしたい、販売したいといったことがあったとしても指定管理者には反映されなくなってしまう。
  - 道の駅が成功するのは、どのような指定管理者が入るか次第である。指定管理者の募集条件に条件をつけすぎると優良な指定管理者が入ってこなくな

る。そのために、市から指定した商品のように条件を付けるのではなく、指定管理者から売らしてもらいたい、というように市場価値を上げていくことが重要である（事務局）。

→市のコンセプトとして、道の駅では障害者のものを売っていきたいから、そういったことが出来る指定管理者を選定していくことの方が重要である。

→そういった指定管理者の選定方法については、今後検討していくことであり、現段階では設計段階のことをお伺いしたい（事務局）。

- 日進市は特徴のある市ではないからといって、木祖村といったような外部から商品を持ってくるのは間違いである。

→木祖村の商品については、単に外部から持ってくるという意味ではなく、友好提携都市のためである。道の駅を契機として今後、そういった特徴を持たせていくことも必要にはなってくると思う（事務局）。

## （２）全体での意見交換

### 【屋外広場と駐車施設との安全対策について】

- Bグループは、「道の駅のデザイン検討」と「屋外広場と駐車場との安全対策」について意見交換ができなかったので、全体の意見交換と合わせて行いたい。まずは、屋外広場の安全対策について、Aグループは、ボール遊びについてサッカー等でなければ、事務局提案の植栽帯程度で問題ないとのことだったが、何か意見はあるか。（事務局）。

- Aグループは前提から話し、屋外広場ではサッカーやドッジボールのようなボール遊びはしないという前提で考えた。

- 基本的には運用上の問題だが、そのようなボール遊びは想定してしない（事務局）。

→「ボール遊びをしないでください」といった看板が立つのか。そうになると、小さい子のボール遊びも禁止になるのではないか。

→ボール遊び全般を考慮すると、極端な話、フェンスで囲う施設になってしまう（事務局）。

→「球技禁止」といった表現は可能か。

→その表現は分かりやすいかもしれない。

→サッカー、野球、ドッジボールなどの激しいボール遊びは対象になると思う。

→それはいい案と思う。

→球技という表現は狭義的なイメージが付く。そういった上手い表現での対応を検討する（事務局）。

→小さい子のボール遊びはしたい。

- 安全対策を植栽帯にした理由はもう一つある。参加された団体から、植栽帯をボランティア活動等の場で活用したいという要望もあったので、それも検討に踏まえている（事務局）。

→言われてみれば確かに見かける。

→植栽は、維持管理の手間がかかると思うが、わざわざ維持管理のかかる植栽

を選んだのか。

→植栽は維持管理に費用と労力がかかるので無くした方が良いという意見もあったが、たたき案では要望を反映した（事務局）。

→本当に維持管理は大丈夫かと思う。ぼさぼさに枝が伸びている植栽も良く見かけるし、空き缶などのごみを捨てられる。

→道の駅をイベント等で利用するときには、できるかぎりフラットの方が良いという意見もある（事務局）。

• 広場の大きさはどのくらいか。

→防災ヘリポートの離着陸帯が38m×38mなので、園路を含めると50m×50m程度である（事務局）。

→実際のところ、そこまでの大きさの広場ではない。

• この規模は、少し人がいるとボール遊びなんてできない大きさである。図面を見ると、とても大きな広場を感じるが、そもそも、広場といっても、大勢でみんながここにいるような場所ではないと思う。大きな公園の芝生広場のイメージになってしまっているけれど、そういう広さはない。実際は、人が通るような通り道になるのではないか。

→大きさのイメージが逆に分からなくなってきたが、実際にはどのくらいのイメージなのか。

→50mプール1個よりも幅が狭い。全体で2個分もない。50m走だとしたら何秒ですか、という話。20秒もあれば、子どもでも端から端まで行けてしまう。そうすると、この広場では何かして遊ぶという場所でもないという話である。そもそも、鬼ごっことか走り回って遊べない場所である。

→図面だけ見ると、すごく広い場所に見えるが、よくよく考えると、そんなに広くない広場というわけか。

→そんなに走り回れる場所ではない。

→涼しければ、レジャーシートを敷いて、ご飯を食べたりする場所といったところである。

• 防災ヘリポートを兼ねているので、広場には何かを置くことはできないことでよいか。

→普段は、固定式のものでなければ置くことはできる（事務局）。

→普段は可能ということか。

→備え付けのようなもの、例えば街路灯のようなものを設置することはできないが、その日のうちに設置と撤去できるようなものは問題ない（事務局）。

→分かった。

• そうした状況を踏まえて、安全対策は事務局の提案のもので良いと思う。

→私は危ないと思う。私は駐車場に広場が面しているのが、すでに危ないと思っている。

→ヒアリング時に意見としてあげたが、駐車場を少しだけ上げる（下げる）といったことはできないか。費用の問題があるのか。

→予算の問題というよりは、敷地内をできるだけフラットにしておきたい理由はある。一つは、イベントの活用を考えておきたいこと、二つ目は、ユニバーサルデザインへの配慮から、できるだけ段差はなくしたい（事務局）。

- 車椅子の利用者は、身障者用のところから利用するのではないか。
- ユニバーサルデザインの考え方は、子どもからお年寄りまで、誰もが使いやすいデザインとすることである。できるだけ段差は解消しておきたい（事務局）。
- 広場と駐車場の間は、どのような構造になるのか。
- 構造を分けるため、セミフラットを想定している（事務局）。
- 音楽協会では、道の駅の屋外広場等を利用して、定期的なイベントの開催を行っていく予定である。そうした定期的なイベント開催での利用が行われていけば、子どもたちが遊ぶ時間というのも減るので、あまり気にしすぎることはないと思う。

### 【道の駅のデザイン検討】

- 道の駅のデザイン検討について、A グループでは事務局提案のものがよいとのことだったが、何か意見はあるか（事務局）。
- 先ほどのBグループでの意見だが、庇の開口部が大きすぎて雨が降り込む。そうならないようにしてもらいたい。
  - 平面図の作成段階なので、高さはまだ確定していないが、庇自体は5mほどの幅があるので、ある程度の雨の降り込みは問題ないと思われる（事務局）。
  - 防災ヘリポートの安全基準もあるだろうが、庇がもう少し伸びるようだったら伸ばしてもらいたい。
  - 現在の位置が、防災ヘリポートの設置基準との限界位置である（事務局）。
  - では、公園側の庇を伸ばすことはできないか。
  - それは可能かもしれないので、一度検討する（事務局）。
  - 屋根を付けられるところは、付けてもらいたい。
- 屋根の形状について、A グループでは、直線的な屋根よりも多少アールがあるような形状が良いという意見があったが、B グループはどうか（事務局）。
  - 予算による。
  - 二段屋根にするなど、デザインを工夫する案はどうか（事務局）。
  - 濡れるところがあってはいけない。車椅子の人が通ることを想定しないといけない。庇下の通路は絶対濡れてはいけない部分だと思っている。車椅子の人は傘をさして移動できない。
  - 濡れる部分が無ければ、このようなアールの入った形状でも問題ないものか（事務局）。
  - 予算が許せば、どのような形状でも特に問題はない。
- 建物全体のイメージはどうか。意見を伺いたい。A グループで説明したが、片流れタイプは構造がシンプルなので、建築費は標準的である。切妻タイプも同様である。片流れの良い点は、雨どいや付帯設備を建物裏側にもっていくことができる（事務局）。
- 先ほど出た、公園を屋根で覆う意見に賛成である。豊田市の鞍ヶ池公園の公園がそうである。
- 公園に屋根がくると、支柱が必要にある。そうすると大型遊具が置けなくな

る可能性がある。一度検討はする（事務局）。

- B グループでは、この庇の下で販売をしたいという意見が出ていた。ここにキッチンカーを置けた方がいいのでは、という意見があった。
  - 駐車場側では物販施設から離れている、建物入口付近のキッチンカーと物販施設がある方がよいという意見である。
  - 庇には、どうしても支柱が必要となる。今回の案でも支柱があり、車が入っていくには転回するだけのスペースが必要だが、それだけの幅は難しい（事務局）。
  - 車は多少離れていてもよい。どちらかという、野菜などの物販をしたい人たちが通路部分を利用できるようにしてもらいたい。
  - そのあたりは要望として一度検討する（事務局）。

### 【全体】

- 今回、A グループは子育て支援施設を中心に、B グループでは屋外広場や物販施設等を中心に意見交換を行っていただいた。グループ間をクロスするような意見はあるか（事務局）。
- 多目的室のパーテーションは全部外して、連続した空間にできるのか。
  - 可能である（事務局）。
  - 多目的室を利用したマルシェ等の販売は可能か。
  - それは運用の話なので、現段階では回答できない（事務局）。
  - ここでマルシェ等の物販販売ができるなら、床材とかの議論にもなると思うが。
  - 公共施設の会議室を使って販売が可能かといわれると、難しいとは思う（事務局）。
- 多目的室のコンセント等が使いやすいように配置されているとありがたい。
  - コンセントの配置は、使いやすいような配置に配慮する（事務局）。
- 屋外広場の安全対策の植栽について、植栽帯の間はベビーカーは通行できるのか。
  - バリアフリーの基準を確認しながら設計している（事務局）。
  - 本当に入れるのか。
  - バリアフリー法の基準に沿って幅を確保している（事務局）。
  - 本当に通れるのか。通れないのではないか。
  - 公共施設の設計なので、そのあたりの確認は行っている（事務局）。
  - 車椅子は通れない。
  - 繰り返すが、バリアフリーの基準を確認しながら設計している。植栽帯の間を通行しやすいように、何箇所も開口させている（事務局）。
- 意見も出たので、本日のまとめだが、A グループ及びB グループから頂いた意見については、事務局の方で持ち帰り検討させていただく（事務局）。
- 共通事項として、1 点目「屋外広場と駐車場との安全対策」については、一部の意見として少し危ないのではないかという意見もあったが、全体としては事務局提案のとおりで問題なし、2 点目「道の駅のデザイン検討」について



- も、事務局の提案の方向で良い、とのことでよろしいか（事務局）。
- 了解（全団体）。
- 建築については、時代の流れ的に、このような流れである。岐阜県大野町の道の駅も訪れたが、このような建物である。全体的にこのような流れである。
- やはり都市近郊の建物イメージにしたいと考えている（事務局）。
- ドッグランについては、本日の皆さんの意見を基に、再度個別に要望された団体と議論を交わしたいと考えている（事務局）。
  - 今回、道の駅の中で野菜を売りたいと考えている団体がいくつか参加しているが、今後、設計が具体化していく中で、野菜を売りたいような団体を集めて意見を聞くことは考えているのか。
    - 現時点では考えていない。今回、広報で締切りを決めて一斉に募集をさせてもらった。聞き出せば切りがないため、今回応募いただいた 17 団体で意見交換を行う（事務局）。
    - 指定管理者を想定しているが、開駅する際には、指定管理者が JA と連携したり、地元の人たちと協力して行っていないと販売もできないと思う。農産物の出品希望者を集めての場はあると思う（事務局）。
    - 了解した。
  - 日進市の市民活動団体は、にぎわいに登録しているだけでも 270 団体近くある。社会福祉協議会の登録団体をあわせると 300 以上である。今回参加したのは、その内の 17 団体のみである。その 17 団体の意見しか反映していない。私はその 300 以上の団体の代表者の気持ちで参加している。重大な意見を出す場と思っている。今回の内容を市のホームページなどで公開して、参加していない 200 以上の団体に対して意見を聞くことはしないのか。
    - 今行っている利活用希望調査自体が現在進行形である。1 回目が終わって、2 回目をやろうという段階である。まずは現在行っているものを進めたい。利活用希望調査に応募された 17 団体の要望内容を取りまとめるだけでも大変な作業である。現在進行している利活用希望調査に応募された皆さんの意見を取りまとめて、それを参考に設計を考えていく（事務局）。
    - 意見交換会を行い、頂いた意見を検討して、次回の意見交換会に提示したい。ただ、必ずしも全て希望どおりになるとは限らない。この後、道路管理者や商工会等の関係機関の意見も聞いていくことになる。管理運営や費用のことも考えながら、総合的に事務局の方で設計を検討していく予定である。当初の募集条件のとおり、事務局が道の駅の設計の参考とするために募集させていただいているので、その点をご理解いただきたい（事務局）。
    - 意見交換会により利活用希望調査に基づく道の駅の要望内容（道の駅全体）（たたき案）が整理できた後は、今後、利活用希望調査に基づく道の駅の要望内容（道の駅全体）」をとりまとめ、市ホームページで公開していくことは考えている（事務局）。
  - 今回のワークショップは、市民参加条例をクリアした位置付けのものになるのか。
    - 市民参加条例の市民参加手続きに関しては、基本計画策定時に必要な手続きである。設計については関係しない。位置付けとしてはそうなる。今回の

意見交換会は、条例の市民参加手続きに当たるものではない（事務局）。

<まとめ>

- ①本日、Aグループ及びBグループから頂いた意見については、事務局の方で持ち帰り検討させていただく。
- ②一点目「屋外広場と駐車場との安全対策」については、一部の意見として少し危ないのではないかという意見もあったが、全体としては事務局提案のとおりで問題なし。
- ③二点目「道の駅のデザイン検討」についても、事務局の提案の方向が良い。
- ④ドッグランについては、本日の皆さんの意見を基に、要望された団体と再度個別に議論を交わす。
- ⑤意見交換会については、第2回目を開催予定とする。日程については、改めて調整させていただく。